

患者の皆様へ

2019年12月5日

肝胆膵外科

現在、肝胆膵外科では、「機械学習による膵癌の抗癌剤奏功例の層別化と癌微小環境 remodeling の分子機構解明」に関する研究を行っています。今後の治療効果を改善することを目的として、この研究では膵癌患者さんの診療情報などを利用して頂きます。膵癌の診断で2008年から2019年に当院にて治療が行われた患者さんおよび、当科にて根治手術を施行され、手術時に採血された血清や、病理用パラフィンブロックが作成されて保管されている患者様が対象です。診療情報などがこの研究で何のために、どのように使われているのかについて詳しく知りたい方は、下記の窓口にご連絡ください。

1. 研究課題名 「機械学習による膵癌の抗癌剤奏功例の層別化と癌微小環境 remodeling の分子機構解明」

2. 研究の意義・目的

膵癌は外科的切除術が可能であっても、術後早期に再発、転移を来すことのある疾患です。本研究では、抗癌剤治療前と後の採血データを元に、人工知能医学研究室と共同研究で機械学習を用い抗癌剤が有効な方のパターンを見出します。それを実際の切除患者さんに当てはめて、特徴的な蛋白を患者さんの切除標本のホルマリン固定パラフィン包埋標本や血清の解析にて同定し、患者さん個々に合った治療法を見つけることを目的としました。

3. 研究の方法

膵癌の診断にて2008年以降（～2019年）当院で抗がん剤治療を行った患者さん、および当科にて根治手術を施行され、手術時に採血された血清や、病理用パラフィンブロックが作成されて保管されている患者様が対象です。対象患者様の病理用パラフィンブロックや血清を使用して各種免疫染色や血清中の蛋白発現を解析し、各患者様の臨床病理学的因子や予後との関連を評価します。

4. 個人情報の取り扱いについて

本研究で得られた個人情報は、外部に洩れることのないように厳重に管理します。データは匿名化された後、千葉大学にて解析されます。研究成果の発表にあたっては、患者さんの氏名などは一切公表しないこととします。データ等は、千葉大学大学院医学研究院臓器制御外科学研究室の鍵のかかる保管庫で保管します。

5. 研究に診療情報などを利用して欲しくない場合について

ご協力頂けない場合には、原則として結果の公開前であれば情報の削除などの対応をしますので、下記の窓口にご遠慮なくお申し出ください。

「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」に基づいて掲示を行っています。

研究実施機関 : 千葉大学医学部附属病院肝胆膵外科

本件のお問合せ先 : 医学部附属病院 肝胆膵外科

医師 高野 重紹

043(222)7171 内線72225